

ふれあい

平成21年 3月 第276号

大代地区コミュニティー推進協議会
〈編集部〉

事務局：大代地区公民館
☎364-8442

〈掲載目次〉

- 町内会の事業について・・・1
- 物置を整理して(その六)・・・2
- 寒いですが・・・2
- お知らせ・・・2

- 大代の歩み(十二)・・・3
- ふれあい短歌・短歌・・・3
- ふれあい俳句・・・3
- 大代地区公民館まつり
のお知らせ・・・4

町内会の事業について

大代中 小野 菊郎

町内会事業活動は、各層の方々が参加されるよう種目を計画し開催してまいりました。目的は、住民間の交流を深め、地域の絆が深まる事に繋がると考え、企画いたしました。振り返りますと、意図した結果が得られず反省しております。

これからは、尚一層高齢化が進む中で、生活に潤いと生き甲斐を何に求めるか難しい選択を求められてまいります。

高齢者にとつての強みに、豊富な人生経験と各人が持つている特技があります。この潜在している力を発揮出来る様各団体間を横断させて検討をし、多くの方の参加を得られる事業を誕生させられないかと考えております。

私たち地域で生活する中で、人生の充実感、幸福感を得られるのは、自分の存在感を認められた時だと思えます。常に感謝する気持ちで生活できれば達成できることです。

二十年度町内会活動で地域の絆を深めることが出来たこととして、九月実施した防災訓練がありました。

訓練に当たり、自主防災組織運営委員により全世帯を訪問する事前広報訓練を

実施いたしました。

多くの方が防災に関心をもち、隣近所に対する非常時の対処も心がけておられ、災害に対し認識を新たにしておりました。

結果として、災害時は、まず自助、次に共助の認識が高まったと存じます。共通の目的に対し、各人が協力して解決すべく全力を尽くすことが地域の絆を強くすることに繋がると認識を深められたと存じます。

二十一年度の事業計画立案に着手しておりますが、次に繋がる内容にしたいと考えております。

私事ですが、親が、自分が、長くこの地でお世話になりましたことに感謝をし、定年後恩返しをしなければと考え、町内会等行事に参加しております。身の丈にあったことしか出来ませんが、これからも地域住民の絆を深める活動に参加したいと考えております。



物置を整理して（その六）

大代中 本郷 敏郎

今回は、前回投稿いたしました「宮城県地誌提要」より、もっと時代を遡った元禄三年（一六九〇年）刊の「小学示蒙句解」（しようがくじもうくかい）という本を紹介したいと思えます。

著者は「中村揚斎」（なかむらてきさい）（一六二九〜一七〇二年。京都の儒者。寛永六年に生まれ、元禄十五年七月に没す。享年七十四歳）といい、漢学に分類されています。

紙質は和紙で出来ており、版面は木版印刷です。全六巻十冊から成っており、それぞれの巻に、小学示蒙句解・序・巻之首・巻之一・巻之一終・の様に分類されています。

内容は、「小学」について古典籍なども引用しながら解説したものです。

「小学」とは中国、夏・殷・周三代の学校で、八歳以上の児童を教育したところ。また、そこで主として教えた学科（進退・洒掃・造字、さらに儒学における初歩的基本的な学問のこと）

小学校で使われていた教科書ではなく、「小学」という学問に関する書籍であると言うことです。漢字とカタカナで出来ている本ですが、難しいところが多い反

面、私達にも成るほどと、理解できるところが、多々あります。

本そのものが、痛んできているので、その筋に出すのも；とも、思っています。今回はこの辺で終わりにしたいと思います。

寒いですが

匿名投稿

寒い日が続きますが、家にいてコタツでぬくぬくしているよりはと、最近散歩を始めました。日中であれば結構暖かい日が多く、しっかりと防寒対策をすれば気持もよく健康にもいいと感じるようになります。

久しぶりに歩いてみて気づいたことは、しばらく見ないうちに、ずいぶんと景色が変わっていたことです。懐かしく思い描いていた風景が変わっていくというのは少し寂しい感じもしましたが、何年も通っていなかった道をまた別の角度からとらえることが出来ました。

最近のご夫婦や友達同士で散歩している方も多いようで、すれ違い様に挨拶をするや気持ちよく返してくれます。立ち止まってとりとめのない会話を交わすのも楽しみになっています。

新鮮な空気にふれながらこれからも散

歩をつづけていきたいと思っています。

お知らせ

平成二十一年度大代各区の総会が左記日程（予定）により行われます。

（記）

大代東区

四月五日（日）午前九時三十分から
会場 東区集会所

大代中区

四月十二日（日）午前九時から
会場 大代地区公民館

大代西区

四月十二日（日）午前十時から
会場 老人憩いの家

大代北区

三月十五日（日）午後七時から
会場 北区集会所

大代南区

四月十一日（土）午後六時三十分から
会場 大代地区公民館

日程は変更になる場合があります。

大代の歩み (十二)

大代南 渡邊 巖

さて戦後、長い間『隣は何をする人ぞ』の様に稀薄だった地域社会の結束も、行政・地区住民共同の活動で成果を上げていくが、では昔の大代住民はどの様な方法で相互扶助を實行していたのだろうか。

村の互助組織 (一)

契約 (戸主契約) 講：住民の親睦を図る為の宿行事や葬儀の際の互助を目的とした団体であるが、大代村にも文政年間(一八一八〜二九)の頃から存在したと伝えられている。最初の頃は村全体で一つの団体であったが年と共に住民 (戸数) の増加があり、村内を東・中・西の三区に分けて講を運営していた。

講の中心的役割は前記の通りであるが、大代村には契約講とは別の組織があつて、村内に不幸があつたときの『知らせ・寺使い・棺担ぎ・墓穴掘り』など、葬儀に係わる一切の世話をした。また村内の各戸からコメ或いは香典 (イシパネ) を集めてその家に届けていた。

頼母子講：村人達はまた金銭が必要になつた時に備えて、いろいろな頼母子講の組織を作つた。無尽も同じような組織であるが座元と呼ばれる主催者を立て、参

加者が掛け金を出しあつて金銭を積みくじ引きなどの方法で当たつた人から繰りにその金銭を利用する事が出来る、というのが頼母子講のやり方であり、一種の互助組織であつた。しかし、実際には急に金銭が要り用になつた時や、農民の夢である伊勢神宮の資金造りを名目にするものであつたが、むしろ生活費に充てられる方が多かつたようである。

念仏講：五十歳代から七十歳代くらい迄の女性が加入し、年一回お寺へ料理を持参して寄り合いをしたり、村内に不幸があつたとき等に念仏を唱えて回つた。

続く

ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

越後路の春日の山の城跡に

謙信偲び 桜咲き継ぐ

近代の夢を噴きあぐ 桜島

篤姫の思ひ 誰か知るらめ

大江戸を 火の海とせで 救ひたる

西郷隆盛 上野に立つる

白碁すて 黒碁扱びし 名人戦

奥の一手に 何をかなさむ

大海へ 進水したる 黒船は

荒波越えて 大漁なるや

大任を 果たし 帰港か 半世紀

戦艦大和 何を叫ばむ

短歌

平成二十年度NHK全国短歌大会入選

大代西 藤田 遊子

大戦に 一命捧げし 我が父の

遺影に一つ 星は輝く

原爆の 投下されにし 広島

空に平和の 鐘ひびくなり

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

蝦夷穴は古代の墓ぞ冬の早

老の身のおなごりがたき春の風

百までは生きる気魄の梅を見に

春立ちし牡蠣殻の山乾きおり

薄氷をこなごなに して孫の靴

笠神西 本郷 勝子

大吹雪蔵王連山魔物住む

九十九折り奈落の底の冬の山

雪嶺の嶮路の行く手我が射程

雪飛んで稜線光る春夕暮れ

風吹いて眠る山々自覚おり

八幡 森 秀子

山茶花に虹のふちどり文机

北塞ぐ夫の生家の萱の屋根

一年の健康託し七日粥

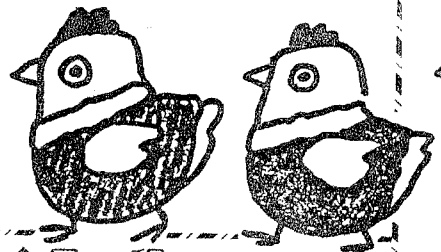
七草の四つまで摘みて心足る

ヒリヒリとキム子喉越す風邪心地

平成20年度 大代地区公民館まつり

※大代地区公民館耐震改修工事の関係で展示部のみの開催となります

【展示部】



前半展示団体（第1・第2会議室）

	◆日 程
ペン習字教室	
大代ペン習字サークル	3月14日（土） 10:00～17:00
切り絵サークル	3月15日（日） 10:00～17:00
はがき絵サークル	3月17日（火） 10:00～17:00
むかしあそび愛好会	3月18日（水） 10:00～15:00
華道サークル（3月15日15:00まで）	※3月16日（月）は休館日です

後半展示団体（第1・第2会議室）

	◆日 程
山茶花大学	
フラワーデザイン講座	
大代水墨画サークル	3月19日（木） 10:00～17:00
パッチワークサークル	3月20日（金） 10:00～17:00
パッチワーク13年度会	3月21日（土） 10:00～17:00
八光書道サークル	3月22日（日） 10:00～16:00
創美会（大代）	
パンアートフジ大代教室	

主催：大代地区公民館まつり実行委員会
後援：多賀城市大代地区公民館

